



# 学童保育のあ のあだより2月号 2026.2

住所：栄区桂台西1丁目30-7  
Tel/Fax：045-410-8404  
Mail：gkdnoah@gmail.com  
運営：特定非営利活動法人  
のあインターナショナルスクール  
URL：https://www.noah-is.jp/

みなさんは東田直樹さんをご存じですか？  
右記にプロフィールを簡単に紹介しました。さらに詳しい情報はネットから収集できます。

今後時々この紙面にて、彼のX投稿からピックアップして自閉症の当事者の気持ちや想い、日々の感想等掲載していく予定です。

## 東田直樹さん

小学校6年生から中学3年生までは、特別支援学校で学ぶ。その後、2011年3月通信制高校卒業。

角川学芸出版、エスコアール、ビッグイシュー、イースト・プレス、小学館、朝日新聞社、交通新聞社より、童話、詩、絵本を21冊出版。NHK福祉ネットワークをはじめ、多数のテレビ番組や新聞で紹介される。

## Xの投稿から

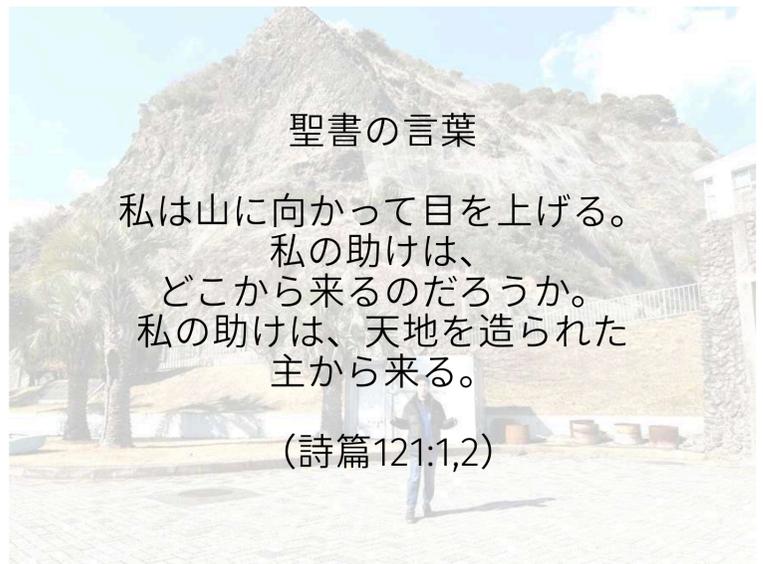
やさしい言葉をかけてもらえたり、自分の思いに耳を傾けようとしてくれる人がいたりすると、自分の居場所があると感じます。自分のできることをやって一所懸命に生きようと、前向きになれるのではないのでしょうか。そんな気持ちは、「生きていてよかった」と思う理由のひとつになると思います。

自閉症の人が目標を達成するために、「ごほうび」を用意したり、励ましたりすると思います。でも僕の場合、もっと有効だったのは、「ありがとう」や「助かったよ」という感謝の気持ちを伝えてくれたり、「本当によかったね」「私もうれしい」など、僕の思いに共感したりしてくれることでした。

## 聖書の言葉

私は山に向かって目を上げる。  
私の助けは、  
どこから来るのだろうか。  
私の助けは、天地を造られた  
主から来る。

(詩篇121:1,2)



## 火おこし体験、お正月遊び

お正月気分も残る1/6、のあインターナショナルスクールとふぁみりーさぼーとのあのある野七里の裏山広場で恒例の火おこし体験を行いました。「火おこし」と言ってもキャンプで火だねから火を作る、みたいなことではなく、裏山を管理してくださっているボランティアの森さんとお仲間が上手に焚き火を作ってくれて、その火を囲んで焼いたお餅で海苔醤油、きなこ、お汁粉、また憧れの焼きマシュマロや焼きせんべい、埋めておいた焼き芋(じゃが&さつま)などなど、子どもたちは真っ赤なほっぺで楽しみました。

ピリリと冷たい空気の中、まるで生きているかのように揺れ動くオレンジの炎はいつまで見ても飽きないほどですが、焚き火には目もくれずおじさんたちお手製のジップコード、タイヤやおもちゃのブービーを吊るしたブランコ、ハンモックで遊びながら、興奮のあまりキャーキャーうれしそうに大きな声をあげ続ける子どもたち。子どもは風の子、大人は火の子?! こんな体験ができることは本当にありがたいことですよね。



福笑い、コマ遊び、百人一首、かるたなどのお正月遊びを楽しみました。



## 高学年キャンプ

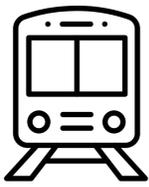
高学年キャンプ2025

1/31~2/1(土日) 1泊2日

@鴨川青少年の家 (略称：鴨青)

昨年までの山梨県北斗市清里と違い、海辺で目の前は180度オーシャンビュー、周囲にヤシの木もあり海外のリゾート地と言えそうな風景の中、コンクリート打ちっばなしの少々年は経ているけれど鴨青は立派な建物、施設職員の方々も優しく、説明も指導も分かりやすく、食事もほぼほぼ美味しく十分な量、あちこちに飲料の自販機、アイスクリーム自販機もあり、快適に過ごせました。唯一の難点は、暖房がゆるく寒かったこと、自販機の飲み物が全て「つめたい」でした(あの日は日本中寒波に見舞われ極寒の日！)

熱いお風呂がなんと有難かったことか！スタッフは身体の芯まで温りたくずーっとつかっていました(笑)



さて本郷台～目的地太海は各駅停車で4時間余り、おしゃべり、電車クイズ、おやつタイム、読書タイム、お弁当タイムと退屈することなく、和やかに過ごせました。



日頃のヤンチャたちも見違えるほどのおりこうさん！午後広一い体育館でのスポーツ三昧3時間、ナイトウォークで思い思いに弾けて写真撮影、2日目、午前中のクラフト「勾玉作り」は2時間集中して素敵な作品に仕上がりました。シーサイドベースでのお買い物タイム、スムーズな動きで時間内に済ませ、プチ浜遊びで最後に楽しそうに弾け、満足の表情で戻ってきた子どもたち。さらに「スシロー」での昼食、タブレットで注文慣れしている子どもも慣れていない子どもも食べたいものを予算内でスムーズに注文、出てきたお皿を美味しく平らげていく様子を「今どきの子」だなあとスタッフは驚きをもって眺めました。鴨青最高、子どももスタッフみな元気。お天気良し、電車も遅延なし、プログラムもスムーズに全クリ、奇跡と思えるほど非の打ち所がない今年の高学年キャンプでした！！



## スタッフ谷川より皆様へ



2月初めから産休に入らせていただきました谷川理緒です。学童関係者の皆さまには、これまで、多くの場面でお世話になりました。ありがとうございました。

子どもたちには、妊娠5ヶ月に入った2025年10月ごろに妊娠していることを伝えました。それからの期間、子どもたちなりに命の大切さなどを理解し受け留めてくれて、お腹の中の赤ちゃんの成長を一緒に楽しみながら過ごすことができたことはとても貴重な経験となりました。

一方で、私自身、出来なくなることも増え、子どもたちや保護者の皆さまにはご不便をおかけしたと思いますが、温かく見守ってくださり、助けてくださり、ありがとうございました。

スタッフの皆さんの配慮とサポートのもと、ギリギリまで働き続けることができたことも嬉しく思います。

3月17日が予定日で、しばらく学童はお休みさせていただきますが、産後どこかで見かけた時は、ぜひ声をかけてください(^^)



2月5日、産休前最後の日に送る会をもちました。子どもたちから手作りの花束のプレゼント、子どもたち一人一人にもプレゼントが渡され、無事の出産をみんなで祈りました。元気な赤ちゃん和妈妈になったりおちゃんに会える日が楽しみです。

